

# 留学報告書

苅田 裕也

2018 年 12 月

UC Berkeley, Biophysics Graduate Group 3 年目の苅田裕也です。船井情報科学財団からのご支援をいただいて 2016 年度から留学をしています。

## 1 ラボでの生活

今年の夏からいくつかラボで試験的な取り組みがはじまりました。そのひとつがグループミーティングの時の 2-minute update です。今まではひとりが 2 時間ほど研究発表する形式でしたが、全員が最近の進捗を 2 分で報告する時間が追加されました。この取り組みはなかなか良く、普段あまり会話しない人の研究の近況を頻繁に知れますし、自分の研究で詰まっていることを相談する機会にもなります。短い時間で要点を伝えるいわゆるエレベータートークの練習にもなっている気がします。他にも試験的に 10 分間の板書での研究発表などいくつか試していますが、こちらが定着するかはあやしいところです。

同じく今年の 8 月ごろからラボの学生 3 人で教科書や論文の輪読会を隔週でやっています。3 人とも普段は実験をしているので、理論を勉強するペースメーカーにしようという狙いです。毎回ひとりが facilitator になって板書で議論するのですが、発表担当の回はただ読むだけの勉強よりもだいぶ理解が深まります。前半は population genetics と coalescent theory の基礎を教科書で勉強していましたが、最近はトピック毎に重要な理論の論文をいくつか選んで数式を追っています。来学期も継続して取り組む予定です。

もうひとつ、birthday buddy という制度が、学生ひとりの提案ではじまりました。二人組がお互いの誕生日会を企画する制度です。誕生日会といってもティータイムのケーキか、仕事終わりのビールのようなちょっとしたものですが、単純に美味しいケーキに頻繁にありつけて嬉しいです。

## 2 山火事

今年の 11 月にカリフォルニアで大規模な山火事がありました。毎年のように山火事はありますが、今年は過去最大規模で、発生地から車で 2 時間ほど離れたバークレーですら大きな影響がありました。名前こそ「キャンプファイア」という愉快的な名前が付いていますが、煙による大気汚染はすさまじく、1 週間ほど大学が閉鎖される事態になりました。普段は雲一つないカリフォルニアの

空ですが、この時期ばかりは空(というより空気)がずっと灰色で、外出にはマスクが必須でした。やっと雨が降った翌日の空が青かった時には心底ほっとした記憶があります。今回は花粉用のマスクでごまかしましたが、N95 マスクの必要性を実感しました。事が起こってからだと品薄になるので、カリフォルニアに留学される方は山火事に備えて常備しておくことをおすすめします。

### 3 Big Game

UC Berkeley と Stanford のあいだのアメリカンフットボールの試合は Big Game と呼ばれ伝統の一戦とされています。去年は Stanford での開催でしたが、今年はバークレー開催のホーム戦で盛り上がりも格別でした。ただ問題がひとつあり、それはこの伝統の一戦で UC Berkeley が圧倒的に弱いということです。今年も序盤のリードを常にキープされたまま危なげなく(?) 負ける展開でした。2010 年から数えて 9 連敗中です。今年の Stanford の応援団が謎の温暖化風刺コントとポケモンコスプレによる前衛的創作ダンス(たぶん即興)という邪道路線だったので、しっかり王道のマーチングとチアリーディングで勝負した Berkeley が負けたのは余計悔しいところでした。自分が在学中になんとか一勝するところを見届けられればと思っています。



図 1: 学生による Cal の文字

### 4 最後に

変わらず楽しく日々を過ごしていますが、アメリカの地でこのような経験ができてるのは船井財団からのご支援のおかげです。財政面はもちろん、財団を通して知り合った人たちとの関係もたいへん貴重なものだと実感しています。改めてお礼申し上げます。現在やっとひとつめの論文を準備しているところですので、次の報告書では研究の詳しいお話をできればと思います。